

令和4年度

第2回在宅医療・介護連携推進協議会

会議録(要旨記載)

日時:令和4年9月29日(木)午後1時30分～

会場:湖西市防災センター

1 出席者

<委員>

長 尾 文之助 （ 浜名医師会 ）
鈴 木 隆 （ 浜名医師会 ）
伊 藤 慎 一 （ 浜名歯科医師会 ）
塩 野 州 平 （ 浜松市薬剤師会 ）
内 山 大 輔 （ 介護老人保健施設まんさくの里 ）
鈴 木 織 江 （ 浜名病院地域医療連携室 ）
夏 目 志津子 （ 市立湖西病院在宅支援室 ） Web参加
前 田 幸 代 （ 訪問看護ステーションはまな ）
内 藤 加代子 （ 地域包括支援センター湖西白萩 ）
浅 井 恵 子 （ ケアプランセンター陽菜 ）
稲 本 直 子 （ サンシティあらい ）
吉 田 朝 子 （ 湖西市社会福祉協議会 介護センターこさい ）
藤 田 周 子 （ 有識者 湖西市医会 医師 ）
山 下 いづみ （ 有識者 浜松市医師会 ）

<事務局>

阿 部 祐 城 （ 健康福祉部高齢者福祉課長 ）
琴 岡 文 乃 （ 健康福祉部高齢者福祉課係長 ）
尾 崎 里佳子 （ 健康福祉部高齢者福祉課保健師 ）
松 井 美智子 （ 在宅医療・介護連携支援センター相談員 ）
村 越 正 代 （ 健康福祉部健康増進課長 ）

2 会議次第

1 開会 挨拶

2 議事

- (1) 在宅医療データベース調査及びお助けブックについて ……資料 1
- (2) 「強み・弱み」課題の進行管理表の項目 A-3 について ……資料 2
※時間に余裕がある場合、項目 B-1 についても検討
- (3) その他
 - ・第 2 回多職種連携研修会について
 - ・プレ会議について

3 次回案内

次回 11 月 24 日(木)予定

3 会議内容

開始 13 時 30 分から

<p>開会</p> <p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 在宅医療データベース 調査及びお助けブック について</p>	<p>高齢者福祉課長）湖西市在宅医療・介護連携推進協議会を開会します。議事の進行については長尾先生お願いします。</p> <p>長尾会長）司会を務めさせていただきます浜名医師会副会長の長尾です。宜しくお願いします。</p> <p>長尾会長）それでは議事に入ります。</p> <p>事務局説明 資料 1)</p> <p>アンケート項目の変更に伴い、アンケート用紙及びお助けブックデータベース掲載イメージは添付した資料のとおり。ご覧いただき、ご意見等いただければと思う。また、アンケート締め切りは 10 月 31 日（月）とする。</p> <p>長尾会長）質疑応答はないか。医師会にもアンケート調査の協力の働き掛けをしていく。在宅医療はパワーがいる。</p> <p>塩野委員）前回は必須の項目や変更箇所だけの回答で良かった。読まず、昨年と同じように、返信してしまいそう。レイアウトを変え分かりやすくしたほうが良い。例えば、すべての項目に記入をお願いするのを太字にし、太枠や強弱はないほうが良い。</p> <p>事務局）今回アンケート項目を、カテゴリー別に分けその中でも関連項目をまとめた。H29 年度よりずっと変更なしの事業所もある。転記ミスや項目に関する点検の意味でも、回答をお願いしたい。</p> <p>山下委員）公開・非公開の項目が入れ子になっており回答しにくい。公開する項目を前にまとめ、「以上のものは公開してもよいか？」と記載し後に非公開調査協力をもってきたほうが分かりやすい。</p> <p>事務局）レイアウト検討し代表に見てもらい、配信していければと思うので協力をお願いする。</p> <p>長尾会長）実際活用しているか。</p>
--	--

(2)「強み・弱み」課題の
進行管理表の項目 A-3
について

前田委員) 事業所により、よく使う項目やページは違うが、頻繁に使用している。毎年見直しし詳細がわかるので見る人は多くなっている。病院看護部も利用。また冊子配布のない事業所もホームページから確認できる。

山下委員) アンケート(調査用紙)は、紙ベースでいくのか。

事務局) 医師会は医会で紙ベースで配布。歯科医師会は伊藤先生の協力でメール配信。薬剤師会は塩野先生の協力で薬剤師会を通してメール配信。介護事業所は地域包括ケア推進係よりメール配信。

事務局説明 資料 2-1)

前回協議会でいただいた意見及び一部の委員の方より追加でいただいた意見を赤字で追記。1ヶ所修正があり、C資源関係の6訪問リハビリが需要に対応しきれていないという項目は各事業所に確認し、断ることなく受容できているとのことであったため、解決と修正。

資料 2-2) 前回の会議で藤田委員より検討する範囲を絞ったほうが良いとご意見をいただいたことを踏まえ、資料に図を示した。在宅医療の中の定期的な訪問を行う訪問診療の同一建物外(自宅等)における連携に、的をしぼってみてはどうか。

また、がんか非がんかということが意見に出ていたと思うが、がんに関しては専門性が特に問われるため湖西病院の太田医師との連携をすすめ、非がんに関しては多くの医師が訪問診療に取り組みやすい連携の方法を検討してはどうか。

そこで今回は進行管理表連携協働 A-3 をすすめるにあたり、こんな連携ができるといいな、こういうことなら協力できそうといったご意見をいただければと思う。

長尾会長) 質疑応答はないか。湖西病院ではレスパイト入院での協力を得ている。湖西地区は湖西病院、新所原地区は浜名病院で受けてもらえるとよいが可能か。

鈴木織江委員) 浜名病院でも、外科医に加え麻酔科医もいるのでレスパイトでの入院対応はできる。主治医からのペインコントロールの依頼は必要。麻酔科医が主治医と連携をとっていくとは思う。

前田委員) 遠方に主治医がある場合、受診するのは大変なので早いうちに湖西病院の緩和ケア外来に1回受診して履歴カルテを作

成しておけば、本人や家族にとっても安心。自宅ですっと過ごしたい方は、どのように進めていけば連携がスムーズにいくかは、湖西病院のがん性疼痛の看護師及び市内認定看護師と話し合う予定。

事務局) 以前太田医師と面会した際、1 度の受診だけでなく定期的な受診をしてもらえの方が良いと話があった。長尾先生はどのように対応しているか。

長尾会長) 湖西病院を受診した際に次の受診日の指示をいただければ、それが一番良い。藤田医師はどうか。

藤田委員) 太田医師も忙しい。窓口というか、どの段階ならどこに相談すればよいかなどがわかると太田医師・湖西病院との関わり方、お願いできることできないことの整理がされ分かりやすくなると連携が図りやすい。

夏目委員) 先ずは声をかけていただきその時の状況で太田医師が訪問診療をするのか、医師同士の話し合いになるのかの判断をするようになっている。一度は受診していただくのが基本。

藤田委員) お願いする可能性のある人は早い段階から情報共有しておくということですね。受診できない人もいる。

夏目委員) ご家族だけでもいいのでまずは受診してもらい、その後について判断。どういう連携が図れるかは病院で検討していくことになる。

藤田委員) 直接話ができるとよい。

夏目委員) シズケア*かけはしに太田医師も登録し認定看護師も見れるようになっている。在宅支援室も毎日確認している。

長尾会長) 私は太田医師には、なるべく入院（レスパイト含む）と麻薬管理をお願いしたいと思っている。

鈴木隆委員) 患者も自宅で過ごすことを望んでいても切羽詰まった状況となると突然入院を希望する場合もある。早い段階動けるうちに受診しておくことが必要だと思う。

山下委員) 浜松市には地域がん診療連携拠点病院が4つある。訪問診療医から相談がある場合、緩和チームの医師やチームで対応してくれる。緩和コントロールをするには医療機器も必要。

塩野委員) 医療機器がなんとかなれば、対応可能。貸し出しの権利は持っているが、購入していない。

長尾会長) 夏目委員何かあるか。

夏目委員) 専門職の方々と連携し病院としてターミナルの患者を何人か経験することで、最後がどこかに限らず地域連携も図れ在宅生活がしやすくなってきていると個人的には思っている。

長尾会長) 口腔のがんで歯科医師の訪問診療はどうか。

伊藤委員) ケースとしては少なく、末期の対応はあまりいない。疑わしい場合は浜名病院に紹介し、そこから他病院に紹介される場合もある。

塩野委員) がん患者は、闘病が長くなり口腔内が汚くなって味覚異常や不快感を生ずる場合も多い。訪問してもらえるか。

伊藤委員) 依頼があれば訪問診療で歯科衛生士の訪問が可能。

塩野委員) 直接歯科医院に相談すればよいか。

長尾会長) 言ってもらえれば、歯科に繋がりますよ。

事務局) ここにおられる医師の皆様は太田医師と連携する機会があり方法についても知っているが、他の医会員のかたは窓口を知らないという状況もあるのか。

鈴木隆委員) 何年か前に周知をしているが、ここ最近はない。

長尾会長) また医会等で定期的に周知していく。

事務局) こちらからも湖西病院との話し合いをもとに、窓口や連絡先等周知啓発を行っていく。

<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回多職種連携研修会について ・プレ会議について ・市民向け講演会 <p>3. 次回案内</p>	<p>山下委員) 資料 2-1 のヤングケアラーについて、湖西はどのように対応していくか。多課に関わるので窓口が難しい。</p> <p>事務局) 伊藤健医師より提案があり掲載。担当窓口は決まっていない。協議会主体で話す項目ではないが、どこかにつなげる、コンタクトをとっていくということで掲載。</p> <p>藤田委員) 訪問診療対応の家庭は介護力があるのでそのような事例に接することはない。</p> <p>山下委員) 精神疾患の親、外国の方で子供の通訳が必要な事例があった。</p> <p>前田委員) 最近スクールカウンセラーの方から連絡があったので意識はしておこうと思った。</p> <p>事務局説明) 第2回多職種連携研修会のテーマは未定。過去の意見等を参考に医師会と相談し決めていきたい。</p> <p>事務局説明) 協議会で意見がまとまらないことがある。市からの意見ばかり出すのではなく、事前にプレ会議を開き話し合いをしたらどうかと思う。協力をお願いしたい。</p> <p>事務局説明 アンケート回答のまとめ) 9月10日に行われた市民講演会では参加者より良かったとの意見が多かった。ACPの啓発についてはどういったことが連携でできるか次回協議会でも検討していければと思う。</p> <p>長尾会長) 質疑応答はあるか。また緩和ケアについても医会でも協議していきたいと思う。</p> <p>一同) 意見なし。</p> <p>長尾会長) 次回11月24日(木)予定。 第1回在宅医療・介護連携推進協議会を終了する。</p>
---	--